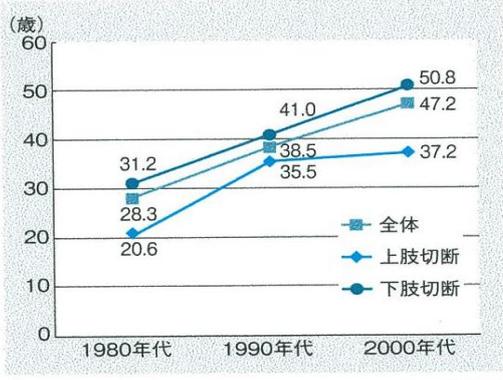


■初版第5刷をお持ちの方

頁・箇所	誤	正
P viii (目次) 下から2行目	1) <u>階段を降りることのできる膝継手</u> 42	1) <b>立脚相と遊脚相双方の制御</b> 42
P3 図2	 <p>図2 上肢切断と下肢切断の切断時平均年齢の推移</p>	 <p>図2 上肢切断と下肢切断の切断時平均年齢の推移</p>
P4 下から5行目	通常は骨断端の <u>後方</u> に縫合創が位置するように魚口状の皮膚弁とする	通常は骨断端の <u>遠位</u> に縫合創が位置するように魚口状の皮膚弁とする
P24 MEMO 1~2行目(タイトル)	<u>四辺形ソケットと坐骨収納型ソケットの比較</u>	<b>四辺形・坐骨収納型</b> , 上から見て比べると .....
P26 下から6行目	切断者の能力や悪路の多い環境では,	切断者の能力が <b>低い場合</b> や悪路の多い環境では
P39 MEMO を追加	なし	MEMO <b>キックポイントとは?</b> 大腿切断・下腿切断の切断肢の骨は骨幹で切断され, 断端先端より骨先端は短い. 遊脚・義足の前方持ち上げ・荷重などの動作に伴い, 軟部組織がソケットと骨先端に挟まれ, 骨先端の前側にあたり痛みが生じることがある. この部分をキックポイントとよぶ.
P41 図2 ⑩と⑫の異常歩 行の原因(義足)	●摩擦が不十分	● <b>膝継手</b> の摩擦が不十分

<p>P42 Step up 下から 10～12 行目</p>	<p>1) <u>階段を降りることのできる膝継手</u> (図 2) C-leg®は、<u>コンピュータ内臓でイールド イング機構 (Lecture3 の Step up 参照)</u> <u>をもつ代表的な膝継手である。</u></p>	<p>1) <b>立脚相と遊脚相双方の制御</b> (図 2) C-leg®は、<b>立脚相と遊脚相の両方がコン ピュータで制御される。膝折れを防止する 機能が高く、</b></p>
<p>P78 下から 3 行目</p>	<p>大腿切断では、股関節屈曲・外転拘縮を 生じやすい</p>	<p>大腿切断では、股関節屈曲・外転・<b>外旋</b>拘 縮を生じやすい</p>
<p>P109 図 11</p>	<p>a. <u>床に座る：義足を一步後ろに引き、<b>健 側と両上肢</b>で支えて座る</u></p> <p>b. <u>長座位以外の姿勢をとる場合、膝義足 装着者は外ソケットを少し脱ぎ、ソケ ットごと回旋させている。ターンテー ブルを用いた義足はそれを利用する。</u></p>	<p>写真：<b>2 段目左側を割愛</b></p> <p>a. 床に座る：義足を一步後ろに引き、<b>残存 肢と両上肢</b>で支えながら<b>残存肢側に殿部 を下ろし長座位となるのが一般的だが、 ターンテーブル (Lecture3 参照) を利用 することも多い。</b></p> <p>b. 膝義足装着者は外ソケットを少し脱ぎ、 ソケットごと回旋させている。ターンテ ーブルを用いた義足はそれを利用する。</p>
<p>P110 16～17 行目</p>	<p>エスカレーター<b>も</b>健側から乗って、健側 から降りる。</p>	<p>エスカレーター<b>は</b>健側から乗って、健側か ら降りる。</p>
<p>P149 19 行目</p>	<p>⑤エスカレーター：健足から乗り、<b>義足</b> から降りる。</p>	<p>⑤エスカレーター：健足から乗り、<b>健足</b>か ら降りる。</p>